

平成 27 年 10 月 6 日

各 位

神奈川県川崎市高津区坂戸 3-2-1  
オンコセラピー・サイエンス株式会社  
代表取締役社長 森 正治  
(コード番号 4564 東証マザーズ)  
(問い合わせ先) 取締役管理本部長 山本和男  
電話番号 044-820-8251

共同研究者のシカゴ大学グループからの論文公表に関して

当社が新規抗がん剤（低分子化合物）を開発中のタンパク質キナーゼTOPK (T-LAK cell-originated protein kinase) に関して重要な働きが見つかり、共同研究者のシカゴ大学医学部・中村祐輔教授のグループによって論文が公表されました。

この酵素は、多くのがんにおいて発現が増加していること、また、がん細胞の増殖に不可欠であることがわかっており、当社ではOTS964等のTOPK阻害化合物を開発中です。今回の研究では、TOPK阻害剤が、予後の悪いことが知られているFLT3-ITD変異を持つ急性骨髄性白血病に対して非常に効果的に働くことを明らかにしたものです。TOPK阻害により同白血病細胞中のFLT3タンパクが消失し、細胞死が誘導されます。本研究成果によって、TOPK阻害剤が同白血病治療のために応用可能であることが示されました。

なお、本研究には当社研究者も参加し、当社のTOPK阻害化合物が同白血病のマウスモデルにおいて有効であることを確認しました。今後、開発スピードをさらに速めて、がん治療に貢献していきたいと考えております。なお、本件による当社業績への影響はありません。

なお、本論文は、10月2日付でOncotarget誌にオンラインで公表されております。

( <http://www.impactjournals.com/oncotarget/index.php?journal=oncotarget&page=article&op=view&path%5b%5d=5418&author-preview=46i> )

以上